



5/7現在の作業進捗について

管内の湛水直播栽培の作業進捗状況は5/13(月)現在で82.9%となり、昨年同時期(62.3%)よりも順調に進んでいる状況となっております。今後生育が進むと、移植したものと変わらない管理となっていきますので、営農センター等から配布される栽培情報を参考としていただきながら圃場の管理をお願い致します。

●「いもち病」防除について

①ルーチンFS剤を種子へ塗末処理した場合

種子に防除効果を持たせての播種となるため本田への防除はしなくても良い。ただし、病斑が見られる場合や、発生が懸念される場合は本田への防除を実施する。

②基肥を兼ねて葉いもち防除を行う場合

・コープガードD12(農薬入り肥料) 40kg/10a を施用する。

③播種前に防除を行っていない場合

6月20日～25日頃にオリゼメート粒剤を2kg/10a散布する。

※いずれも本田内で病斑や発生が懸念される場合は対策が必要です！



葉いもち病斑



ずり込み

栽培管理について

直播の場合は、移植と比べ若干ですが生育に遅れがありますが、今後生育が進むと移植したものと変わらない栽培管理となります。天候の良い日は浅水管理により、分けつ(直播は過剰となる場合があるので注意)の確保、天候が悪い場合や低温の場合は、深水管理により稲体の保護を実施して下さい。その後は水管理で茎数を調整しつつ、中干しで有効茎を決定させていく管理となります。

中干しは過度に行くと根を切ってしまう稲体の活力を低下させる原因となりますので注意しましょう。また、水を要する幼穂形成期(稲体に小さな穂が形成される時期)までには終了して下さい。

●稲作メールマガジンの配信について

メール登録をぜひお願い致します。稲作に関する情報だけでなく、園芸に関わる情報も配信しておりますので、栽培の参考としてご利用して頂きたいと思います。

お持ちのスマートフォン・携帯のQRコードリーダーで読み取り、登録を進めてください！！

